

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Test 1. Part 1 写真描写問題	リスニング力の向上
学科名	国際エアライン科	必須・選択	必須	2	Test 1. Part2 応答問題	リスニング力の向上
学年	2年	担当教員	鈴木晴奈	3	Test 1. Part3 会話問題	リスニング力の向上
科目名	English Strategy TOEIC対策Ⅱ	時間数	136単位時間	4	Test 1. Part4 説明文問題	リスニング力の向上
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	Test 1. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
使用テキスト名	TOEIC L&Rテスト 究極の模試600問+			6	Test 1. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
補助教材	TOEIC(R)L&Rテスト 英単語 ゼロからスコアが稼げるドリル			7	Test 1. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				8	Test 1. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
科目概要と科目到達目標				9	Test 1. Part7 読解問題	リーディング力の向上
科目到達目標: ListeningとReadingの模試問題を集中的に学習し、トレーニングによって解法を身に付ける 9月のTOEIC公開テストで700点、11月のTOEIC公開テストで800点をを目指す				10	Test 1. Part7 読解問題	リーディング力の向上
				11	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				12	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				13	評価	まとめテスト
				14	Test 2. Part 1 写真描写問題	リスニング力の向上
授業の進め方・学習方法・課題				15	Test 2. Part2 応答問題	リスニング力の向上
問題集を使用した実践形式のリーディング問題に慣れることにより得点力の向上を狙う。 繰り返し音声を聞くことにより、音声を記憶する。 ミニテストによる学習進捗状況の確認。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	Test 2. Part3 会話問題	リスニング力の向上
				17	Test 2. Part4 説明文問題	リスニング力の向上
				18	Test 2. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
				19	Test 2. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
				20	Test 2. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
評価方法・成績評価基準				21	Test 2. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
①定期試験50% ②TOEIC公式テストスコア20% ③課題提出物20% ④学習意欲10%				22	Test 2. Part7 読解問題	リーディング力の向上
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	Test 2. Part7 読解問題	リーディング力の向上
				24	Test 3. Part 1 写真描写問題	リスニング力の向上
				25	Test 3. Part2 応答問題	リスニング力の向上
				26	Test 3. Part3 会話問題	リスニング力の向上
				27	Test 3. Part4 説明文問題	リスニング力の向上
				28	Test 3. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
				29	Test 3. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
				30	Test 3. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				31	Test 3. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
実務経験教員の経歴				32	Test 3. Part7 読解問題	リーディング力の向上
貿易会社での翻訳業務経験7年				33	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
大手英会話教室講師経験あり				34	評価	まとめテスト

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	英検2級総合対策P3～13 出る順で最短合格単熟語EX P3～13	5月受験対策
学 科 名	国際エアライン科	必須・選択	必須	2	出る順で最短合格単熟語EX P14～24 リスニング30問	5月受験対策
学 年	2年	担当教員	小林、皆川、寺田	3	英検2級過去問題集2015年第1回 解答解説	5月受験対策
科 目 名	English Strategy 英検対策Ⅱ	時間数	136単位時間	4	英検2級総合対策P14～24 2級過去問題2019長文解答	5月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面授業/オンライン	5	2級過去問題集2019年第2回 解答解説 リスニング30問	5月受験対策
使用テキスト名	2024年度版 英検準2級過去問題集			6	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング暗唱テスト	5月受験対策
補助教材	スタディサプリ TEPPAN単語			7	英検2級対策P25～35 2級過去問題2019年第2回長文解説	5月受験対策
科目概要と科目到達目標				8	短文暗唱テスト8文 単熟語テスト100問	5月受験対策
				9	英検2級対策P36～46 2級過去問題集2019年第3回解答	5月受験対策
科目到達目標: ListeningとReadingの模試問題を集中的に学習し、トレーニングによって解法を身に付け準2級取得に向け対策する。				10	短文暗唱テスト出る順で最短合格単熟語EX P25～35解答	10月受験対策
				11	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				12	英検2級総合対策P47～57 2級過去問題集	10月受験対策
				13	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P36～46	10月受験対策
				14	英検2級総合対策P58～68 2級過去問題集2019年第2回	10月受験対策
				15	英検2級総合対策P69～79 2級過去問題集	10月受験対策
授業の進め方・学習方法・課題 レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる リスニング対策 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	短文暗唱テスト 出る順で最短合格単熟語EX P47～57解説	10月受験対策
				17	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				18	英検2級総合対策P80～90解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				19	英検2級総合対策P91～101 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				20	TOEIC公開テスト対策	10月受験対策
評価方法・成績評価基準				21	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P58～68	10月受験対策
				22	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニングテスト	1月受験対策
①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	英検2級総合対策P102～112	1月受験対策
				24	英検2級総合対策P113～123 解答解説2級過去問題単語テスト	1月受験対策
				25	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	1月受験対策
				26	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P69～79	1月受験対策
				27	英検2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
				28	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				29	英検2級総合対策P135～145解答解説	1月受験対策
				30	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P80～90	1月受験対策
				31	英検2級対策P146～156解答解説 2級過去問題単語テスト	1月受験対策
				32	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P91～101	1月受験対策
実務経験教員の経歴				33	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				34	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P102～112	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際エアライン科	必須・選択	必須	1	はじめに	国際線について 概要 手続き他
学年	2年生	担当教員	大野 孝予	2	1年次の復習	予備知識の確認
科目名	INFINI 国際線中級・運賃中級	時間数	68単位時間	3	1年次の復習	予備知識の確認
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	1年次の復習	予備知識の確認
使用テキスト名	INFINI Reservation and Fare Pricing			5	予約システムと基本操作	基本操作への理解
補助教材				6	予約システムと基本操作	基本操作への理解
科目概要と科目到達目標				7	検索	各種コードの検索
				8	スケジュール照会	週間・特定便のスケジュール照会
<p>○科目概要:ANAグループ国際線の予約・発券システムです。ANAグループの飛行機の予約・発券についてお役様がインターネット以外でお申込みをされる際は、旅行会社、予約センター他で受け付けておりその際スタッフが使用する共通の予約発券システムを使用。</p> <p>○科目到達目標:1年間で国際線取得に向け授業を進める。また、実技対応として、考えて対応できるスキルを身に付ける。</p>				9	フライト予約 空席照会からの予約	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				10	フライト予約 便名指定による予約	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				11	旅程の取り消し・挿入・移動	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				12	旅客データ入力	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				13	PNRの完了 中断	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				14	PNRの抽出	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				15	事前座席指定	予約発券業務への操作の理解 実技演習
<p>授業の進め方・学習方法・課題</p> <p>○教科書を主体に、基礎知識を身に付けながら、実際PCを活用し習得する方法である。</p> <p>講師より予め、問題を作成されたものを練習問題とし学生がPCを使って予約・発券に取り組む学習方法。</p> <p>課題に関して、自宅ではできない為授業時間内にて、説明→PC操作→解答→PC操作など繰り返すことで身に付けていく。</p>				16	SSR 特別に配慮のあるお客様情報入力	旅客情報入力
				17	小テスト	まとめ
				18	SSRの概要	旅客情報入力
				19	SSR 機内食 小児 幼児情報	特別運賃料金への理解
				20	SSR 旅客データ	運賃計算への理解
				21	PNRの分割・PNRのコピー	航空券の有効期限・払戻への知識
				22	PNRの分割・PNRのコピー	発券ファイルとは・理解と応用
<p>①定期試験 50% ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%</p> <p>【成績評価基準】</p> <p>A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた</p> <p>B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している</p> <p>C=良(79-70点) 到達目標を達成している</p> <p>D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している</p> <p>E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない</p>				23	PNRのヒストリー	発券ファイルとは・理解と応用
				24	PNRのヒストリー	発券ファイルとは・理解と応用
				25	キュー処理概要	問い合わせ概要
				26	キュー処理	問い合わせ概要
				27	キュー処理フォローアップ	問い合わせ概要
				28	キューBOXの編集	問い合わせ概要
				29	まとめ	まとめ
				30	まとめ	まとめ
				31	ロールプレイ	総まとめ 実技
				32	ロールプレイ	総まとめ 実技
<p>実務経験教員の経歴</p> <p>旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 22年間</p>				33	検定対策	検定試験 事前学習
				34	検定対策	検定試験 事前学習

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	国際エアライン科	必須・選択	必須	1	現在の航空業界ニュース等	現状の航空業界のサービスなどの情報把握
学 年	2年生	担当教員	北村 裕美	2	国内航空約款	約款について 航空券について
科 目 名	航空ビジネスⅡ	時間数	34単位時間	3	国内航空約款	
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	国内航空約款	航空券について
使用テキスト名	月間エアステージ			5	国内航空約款	有効期限
補助教材	ANAグランドスタッフ入門 パワーポイント スライド			6	国内航空約款	航空券の変更 払戻
科目概要と科目到達目標				7	国内航空約款	航空券の延長
				8	国内航空約款	手荷物について
○科目概要:航空業界に必要な基礎知識を始め、航空業界で働く人に必要な専門知識を学ぶ。空港ハンドリング整備・出入国・保安関連業務・機内での業務・オフィスでの業務など様々な職種に対応できる科目である。 ○科目到達目標:航空業界に必要な基礎知識と専門知識を習得し、臨機応変に対応できるよう即戦力になるよう小テストやロールプレイなども併せて到達目標とする。				9	国内航空約款	手荷物について
				10	国内航空約款	イレギュラーについて
授業の進め方・学習方法・課題				11	国内航空約款	イレギュラーについて
				12	航空時刻表の種類と構成	見方
○航空業界の基礎知識を習得するために、毎回小テストの実施。基礎固めができれば、航空約款から始まり、それぞれの航空会社などポイントをまとめて進めていく。 学習方法としては、毎回小テストなどがあるので基礎知識を理解し習得することが課題である。				13	テスト	
				14	国際航空約款	航空券について
評価方法・成績評価基準				15	国際航空約款	有効期限
				16	国際航空約款	航空券の変更 払戻
①定期試験 50% ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				17	国際航空約款	航空券の延長
				18	国際航空約款	手荷物について
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				19	国際航空約款	イレギュラーについて
				20	国際航空約款	イレギュラーについて
実務経験教員の経歴				21	国際線への知識	イレギュラーについて
				22	航空運賃の種類と解説	国内線と国際線の違い
航空会社にてグランドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、航空業界に必要な航空約款や出入国関係法令や専門知識など航空に関わる実務経験7年。				23	出入国の書類の種類と解説	国際線について
				24	出入国関係法令・旅券の種類・査証とは	概要・一般旅券 発給と手続
				25	通関手続きに関する法令	法令とは
				26	CIQについて	様々な職種と役割
				27	出国時の旅具通関・帰国時の旅具通関	通関とは
				28	免税範囲・関税税率	通関とは
				29	輸入禁止品及び輸入規制品	概要
				30	外国為替関係法令	概要
				31	OAGについて	様々な時刻表の見方他
				32	時差と所要時間の計算	計算方法
				33	時差と所要時間の計算	計算方法
				34	テスト	テストをとおしてまとめる

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際エアライン科	必須・選択	必須	1	国内地理 北陸地方① 自然・観光地・その他の情報	
学年	2年生	担当教員	北村 裕美	2	国内地理 北陸地方②	都道府県の観光地・資源の知識&習得
科目名	地理Information II	時間数	34単位時間	3	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	国内地理 関東地方① 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
使用テキスト名	旅にでたくなる日本地図			5	国内地理 関東地方② 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
補助教材	旅行業実務シリーズ 国内観光地理			6	国内地理 関東地方③ 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				7	国内地理 関東地方④ 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				8	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
<b>科目概要と科目到達目標</b>				9	国内地理 中部地方① 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
就職先のひとつとして、空港内にあるインフォメーションカウンターに対応できる案内知識を学ぶ。 世界遺産検定や旅行千検定(海外)の取得も目指す				10	国内地理 中部地方② 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				11	国内地理 中部地方③ 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				12	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
				13	国内地理 関西地方① 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				14	国内地理 関西地方② 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
<b>授業の進め方・学習方法・課題</b>				15	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
○引き続き1年次からの、都道府県の観光地を学ぶ それぞれの分野が終了した段階で小テストなどを重ねて知識をつけていく。 地図帳には、学んだ景観や観光地などをチェックして場所の確認をする。				16	国内地理 山陰地方① 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				17	前期 まとめ	ウィークポイントの把握と確認
				18	前期振り返り①	
				19	前期振り返り②	
				20	国内地理 山陰地方② 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
<b>評価方法・成績評価基準</b>				21	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
①定期試験 50% ②授業への積極的参加(出席率) 20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22	国内地理 四国地方① 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				23	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
				24	国内地理 九州・沖縄地方① 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				25	国内地理 九州・沖縄地方② 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				26	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
<b>【成績評価基準】</b>				27	旅行プランニング①	新しい視点から見る日本の観光地
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				28	旅行プランニング②	新しい視点から見る日本の観光地
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				29	旅行プランニング③	新しい視点から見る日本の観光地
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				30	旅行プランニング&プレゼンテーション①	各自観光地のツアープランの提案
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				31	旅行プランニング&プレゼンテーション②	各自観光地のツアープランの提案
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				32	旅行プランニング&プレゼンテーション③	各自観光地のツアープランの提案
<b>実務経験教員の経歴</b>				33	総まとめ①	総括とまとめ
				34	総まとめ②	総括とまとめ

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際エアライン科	必須・選択	必須	1	自己紹介、客室乗務員について	CAの役割を知る 保安・サービス確認
学年	2年生	担当教員	鈴木先生	2	客室乗務員の仕事内容	仕事内容の把握 確認チェック
科目名	客室乗務員実習	時間数	17単位時間	3	安全について・保安知識	保安要員としての役割を知る
開講期間	後期	授業形態	対面授業	4	保安要員としての客室乗務員	保安要員としての覚悟
使用テキスト名				5	日本の航空機事故について	保安要員としての覚悟
補助教材	パワーポイント			6	保安要員デモンストレーション①	
				7	保安要員デモンストレーション②	現役のスケジュールとスタイ先での過ごし方など
				8	保安要員デモンストレーション 確認テスト	
<b>科目概要と科目到達目標</b>				9	お土産、免税について	機内販売を含む免税についての知識を得る
客室乗務員になる為の資質から始まり、仕事内容(保安要員とサービス要員)を把握する。				10	機内サービスの流れと、食事などについて	サービスについての学習
また、それぞれの仕事内容を項目に沿って学ぶことで専門的知識を学び身に付けることができる。				11	JAL現役CAとのQ&A	実際のCAとZOOMで対面し、士気を高める
到達目標としては、翌年の就職活動に少しでも活用できるよう自分自身が働いていることをイメージし何が客室として合っているのか把握する。				12	外資系CAについて	海外のCAの特徴、生活などについて
				13	外資系CAについて	海外のCAの特徴、生活などについて
				14	機内での本当の話集	芸能人、有名人、スポーツ選手など
<b>授業の進め方・学習方法・課題</b>				15	前期 CA面接模擬テスト	集団面接
項目に沿って進めていく。学習方法としては、それぞれ知識を学びそれを実技で落としいくものとする。				16	前期 CA面接模擬テスト	集団面接
				17	まとめ	まとめ
				18		
				19		
				20		
<b>評価方法・成績評価基準</b>				21		
①定期試験 50% ②授業への積極的参加(出席率) 20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22		
				23		
				24		
<b>【成績評価基準】</b>				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
<b>実務経験教員の経歴</b>				32		
				33		
				34		

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	グランドスタッフの資質とは 1年次復習	どんな人柄が求められるか
学 科 名	国際エアライン科	必須・選択	必須	2	グランドスタッフの仕事内容	仕事内容を理解する
学 年	2年生	担当教員	北村裕美	3	GSの仕事の役割 1日の仕事内容	GSの仕事の重要性 1日のスケジュールから体力勝負の仕事である
科 目 名	グランドスタッフ実習Ⅱ	時間数	17単位時間	4	チェックイン前にやらなければならないこと	事前準備
開講期間	後期	授業形態	対面授業	5	飛行機に関する基礎知識	専門知識の把握
使用テキスト名				6	飛行機が飛ぶ原理	専門知識の把握
補助教材	パワーポイント			7	GSに必要な専門知識	専門知識の把握
				8	BAG受託について	様々な手荷物についての対応
科目概要と科目到達目標				9	ロールプレイ	実務を学ぶ
科目概要: 1年次の基礎知識を基礎に、グランドスタッフが実際に働いている内容の対応を学ぶ				10	checkイン	座席指定について
科目到達目標: 仕事内容を理解する				11	GATE業務	仕事内容を理解する
				12	特別旅客の対応	車椅子PAX
				13	特別旅客の対応	車椅子PAX
				14	特別旅客の対応	BLND
授業の進め方・学習方法・課題				15	ロールプレイ	ロールプレイ
シラバスに沿った内容で、主にロールプレイを中心に実施。ビデオ撮影などをしながら、客観的に見ることでどのような対応がいいのかチェックする。また、実際の現場での対応力も必要となるので専門的な知識と実務を身に付けながら習得する。				16	ロールプレイ	ロールプレイ
				17	まとめ	
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験 50% ②授業への積極的参加(出席率) 20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22		
				23		
				24		
【成績評価基準】				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	手話検定5級の復習	振り返り
学科名	国際エアライン科	必須・選択	必須	2	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語を習得
学年	2年生	担当教員	北村裕美	3	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語を習得
科目名	手話Ⅱ	時間数	68単位時間	4	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語を習得
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語を習得
使用テキスト名	ゼロからわかる手話入門			6	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語を習得
補助教材	パワーポイント			7	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語&長文を習得
				8	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語&長文を習得
<b>科目概要と科目到達目標</b>				9	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語&長文を習得
手話検定試験3級取得に向けた授業展開				10	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語&長文を習得
⇒基本的な手話表現力ができる あいさつ、自己紹介、趣味について相手に尋ねたり答えたりすることができる。				11	手話検定試験4級取得への道	過去問題①
⇒更に、お店や窓口で簡単な接客の会話や日付や時刻、金額など数字の入った表現ができる。				12	手話検定試験4級取得への道	過去問題②
				13	手話検定試験4級 検定日	検定日
				14	手話を使いながら、ロールプレイ 空港	チェックイン・手荷物
<b>授業の進め方・学習方法・課題</b>				15	手話を使いながら、ロールプレイ 空港	GATE対応
手話検定3級取得に向けて、検定対策の単語学習・ロールプレイの実施。手話も言語のひとつということから楽しく手話を学んでいく。				16	手話を使いながら、ロールプレイ ホテル	フロント 案内
				17	手話を使いながら、ロールプレイ ホテル	お客様対応 レストラン
				18	手話検定4級の復習	振り返り
				19	手話検定試験3級取得への道	手話3級単語を習得
				20	手話検定試験3級取得への道	手話3級単語を習得
<b>評価方法・成績評価基準</b>				21	手話検定試験3級取得への道	手話3級単語を習得
①定期試験 50% ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22	手話検定試験3級取得への道	手話3級単語を習得
<b>【成績評価基準】</b>				23	手話検定試験3級取得への道	手話4級単語&長文を習得
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	手話検定試験3級取得への道	手話4級単語&長文を習得
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	手話検定試験3級取得への道	手話4級単語&長文を習得
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	手話検定試験3級取得への道	手話4級単語&長文を習得
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	手話検定試験3級取得への道	手話5級単語&長文を習得
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	手話検定試験3級取得への道	手話6級単語&長文を習得
				29	手話検定試験3級取得への道	手話7級単語&長文を習得
				30	手話で発表してみよう	発表
				31	手話で発表してみよう	発表
<b>実務経験教員の経歴</b>				32	手話で発表してみよう	発表
				33	検定試験	
				34	まとめ	

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	1年次からの振り返り	自分自身のセルフプレゼンテーション
学 科 名	国際エアライン科	必須・選択	必須	2	現在の就職活動報告①	それぞれの就職報告
学 年	2年生	担当教員	北村裕美	3	航空会社企業研究①	企業の求める人材を確認
科 目 名	就職実務Ⅱ（面接対応）	時間数	34単位時間	4	航空会社企業研究②	企業の求める人材を確認
開講期間	通年	授業形態	オンライン授業	5	人となりからの面接質問	面接官は何を見ているのか？
使用テキスト名				6	人となりからの面接質問	面接官は何を見ているのか？
補助教材	パワーポイント			7	お互いを面接する	客観的に自分を見る
				8	お互いを面接する	
科目概要と科目到達目標				9	面接模擬テスト	集団面接
科目概要：希望する業種などを把握し、それぞれの企業に向けた面接指導と企業研究				10	面接模擬テスト	集団面接
科目到達目標：就職内定者の排出				11	グループディスカッション	・グループディスカッションとは？
				12	グループディスカッション	・グループディスカッションとは？
				13	グループディスカッション と ワークショップ	・グループディスカッションとは？
				14	グループディスカッション と ワークショップ	ワークショップから受験を見え方
授業の進め方・学習方法・課題				15	前期 面接模擬テスト	集団面接
航空業界の試験内容と進め方を紹介。また、ESが通過するための極意など航空業界に必要なポイントなどを踏まえ伝授する。課題は自己分析などプリントなどを配布し記入しながら、材料を貯めていく。				16	前期 面接模擬テスト	集団面接
				17	まとめ	まとめ
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験 50% ②授業への積極的参加(出席率) 20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22		
【成績評価基準】				23		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	国際エアライン科	必須・選択	必須	1	序章 プロトコール概要	マナー エチケット 礼儀 作法違い
学 年	2年生	担当教員	北村 裕美	2	第1章 マナーの歴史と意味	日本の礼儀 西洋作法の成り立ち
科 目 名	マナープロトコール	時間数	34単位時間	3	第2章 国際人としてのプロトコール	プロトコールの原則
開講期間	通年	授業形態	オンライン授業	4	第5章 食事のマナー	食事の作法 和食 西洋など
使用テキスト名	マナープロトコール			5	第5章 食事のマナー	食事の作法 和食 西洋など
補助教材	パワーポイント			6	第7章 「冠」のしきたり	冠婚葬祭とは
				7	第7章 「冠」のしきたり	冠婚葬祭とは
				8	第8章 「婚」のしきたり	結婚の変遷
科目概要と科目到達目標				9	第8章 「婚」のしきたり	結婚の変遷
科目概要:日本のマナーを習得した上で、国際的マナーの習得				10	第9章 「葬」のしきたり	葬のしきたり
科目到達目標:マナープロトコール検定3級取得を目指す				11	第9章 「葬」のしきたり	葬のしきたり
				12	第10章 「祭り」のしきたり	祭りのしきたり
				13	第10章 「祭り」のしきたり	祭りのしきたり
				14	過去問題	
授業の進め方・学習方法・課題				15	過去問題	
1年次で秘書検定のマナーを学んだことを基本に、世界的なマナーを習得する。				16	検定試験 3級受験	
各章で学んだことを小テストなどで確認作業の実施				17	第2章 国際人としてのプロトコール	プロトコールの原則
				18	第5章 食事のマナー	補足と2級レベル
				19	第5章 食事のマナー	補足と2級レベル
				20	第6章 「お酒」のマナー	お酒の種類 ワイン基礎知識
評価方法・成績評価基準				21	第6章 「お酒」のマナー	補足
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 20%				22	第7章 「冠」のしきたり	補足と2級レベル
【成績評価基準】				23	第7章 「冠」のしきたり	補足と2級レベル
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	第8章 「婚」のしきたり	補足と2級レベル
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	第8章 「婚」のしきたり	補足と2級レベル
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	第9章 「葬」のしきたり	補足と2級レベル
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	第9章 「葬」のしきたり	補足と2級レベル
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	第10章 「祭り」のしきたり	補足と2級レベル
				29	第10章 「祭り」のしきたり	補足と2級レベル
				30	過去問題	
				31	検定試験2級	
実務経験教員の経歴				32	実践ロールプレイ	
航空会社にてグランドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、航空業界から得たマナーなど、社会人にて必要なビジネスマナー対応など関わる実務経験7年。マナープロトコール協会より認定講師				33	実践ロールプレイ	
				34	まとめ	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	はじめに 2年次メイクの授業進度について	
学 科 名	国際エアライン科	必須・選択	必須	2	効果発表 ・自分のメイク&髪 TOTAL	1年次の振り返りと現状把握
学 年	2年生	担当教員	加藤広美	3	効果発表 ・自分のメイク&髪 TOTAL	1年次の振り返りと現状把握
科 目 名	Image Making II	時間数	68単位時間	4	相モデルについての準備と説明	相手に対してのメイク方法
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	相モデル実践(ベース)スキンケア	相手に対してのメイク方法
使用テキスト名				6	相モデル実践(POINT)眉 アイメイク リップ チーク	相手に対してのメイク方法
補助教材	エアステージ			7	相モデル実践(POINT)眉 アイメイク リップ チーク	相手に対してのメイク方法
				8	着物 着装(春)	着物振り返り
科目概要と科目到達目標				9	IMAGE MAKING ・髪型 セルフ	1年次の振り返り
科目概要:髪型を含め、受験企業に合わせたメイクの仕方とPTOに合わせたメイクをアレンジできるように技術を身に付ける				10	IMAGE MAKING ・髪型 セルフ	2年次の振り返り
科目到達目標:メイク、ヘアアレンジ、身だしなみ、マナーを学び、オフィスで好印象を与えるトータルコーディネートを身に付ける				11	IMAGE MAKING ・髪型 お互い	人それぞれのメイク方法 特徴 ポイント
				12	IMAGE MAKING ・髪型 お互い	人それぞれのメイク方法 特徴 ポイント
				13	IMAGE MAKING ・髪型 検定準備	印象の良い髪形についての指導
				14	IMAGE MAKING ・髪型 検定	検定
授業の進め方・学習方法・課題				15	IMAG MAKING ・TOTAL MAKING 浴衣	浴衣のトータル指導
講師のメイク方法をサンプルとして紹介。講師のガイダンスを参考に自分でメイクを施す				16	IMAG MAKING ・TOTAL MAKING 相モデル	印象の良い身だしなみについて(相手)
講師による改善指導				17	IMAG MAKING ・TOTAL MAKING 髪とメイク	印象の良い身だしなみについて(相手)
				18	効果発表 ・自分のメイク	セルフメイク
				19	効果発表 ・自分のメイク	セルフメイク
				20	効果発表 ・相モデル	相手へのメイク
評価方法・成績評価基準				21	効果発表 ・相モデル	相手へのメイク
①定期試験 10% ②授業への積極的参加(出席率)60% ③提出物 10% ④学習意欲 20%				22	効果発表 ・相モデル	相手へのメイク
【成績評価基準】				23	着物 着装(秋)	着物振り返り
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	着物 着装(秋)	着物振り返り
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	企業研究 メイク&髪型	内定先への身だしなみメイク 髪型研究
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	企業研究 メイク&髪型	内定先への身だしなみメイク 髪型研究
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	トータルコーディネート	トータルで印象の良い身だしなみコーディネート
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	トータルコーディネート	トータルで印象の良い身だしなみコーディネート
				29	社会人に出る前の身だしなみ	社会人としての身だしなみ 心構え
				30	社会人に出る前の身だしなみ	社会人としての身だしなみ 心構え
				31	相モデル メイク	相手を対象としたメイク方法確認
実務経験教員の経歴				32	相モデル メイク	相手を対象としたメイク方法確認
様々な企業への研修などを実施しており、プロのメイクアップアーティストである。ビジネスマナー用のメイクから、各航空会社へのメイクやヘアアップも担当 実務経験36年				33	トータルコーディネート	最後の総仕上げ
				34	振り返り	2年間の振り返り

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション①	授業導入の狙いと後期計画等について
学 科 名	国際エアライン科	必須・選択	必須	2	観光の重要性	マーケティングの重要性と概念を理解する
学 年	2年生	担当教員	矢後 達夫	3	観光マーケティングの概念	マーケティングの重要性と概念を理解する
科 目 名	観光マーケティング	時間数	17単位時間	4	顧客ニーズについて①	マーケティングの重要性と概念を理解する
開講期間	後期	授業形態	対面授業	5	顧客ニーズについて②	マーケティングの重要性と概念を理解する
使用テキスト名	観光マーケティング入門			6	個人マーケット①	観光マーケットと購買行動を学ぶ
補助教材	パワーポイントスライド			7	個人マーケット②	観光マーケットと購買行動を学ぶ
				8	団体マーケット	観光マーケットと購買行動を学ぶ
科目概要と科目到達目標				9	購買プロセス	観光マーケットと購買行動を学ぶ
観光産業の人材育成のため、観光マーケティング理論・知識を習得する。 観光以外の職業に就いたとしてもマーケティングの様々な課題を解決出来る知識を身に付ける。				10	価格弾力性	観光マーケットと購買行動を学ぶ
				11	市場の細分化とターゲット設定	競争分析について手法を学ぶ
				12	ポジショニングについて	競争分析について手法を学ぶ
				13	マーケティング基本戦略	競争分析について手法を学ぶ
				14	多様化するニーズへの対応①	商品のマネジメントについて理解する
授業の進め方・学習方法・課題				15	多様化するニーズへの対応②	商品のマネジメントについて理解する
テキストを中心に「観光マーケティング」の仕組みや考え方を学ぶ。 後期テストを実施。(選択式)				16	海外旅行商材	流通チャネルのマネジメントを知る
				17	流通チャネルについて・まとめ	
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験40% ②授業への積極的参加20% ③提出物30% ④出席数10% ※①と③で70%とする。 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
旅行会社にて、カウンターを含む旅行渉外営業、旅行企画手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 10年間				33		
				34		

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	イントロダクション 異文化理解のすすめ	なぜ異文化理解が必要なのかを学ぶ
学 科 名	国際エアライン科	必須・選択	必須	2	異文化コミュニケーション①～文化とは何か～	文化とは何かを学ぶ
学 年	2年生	担当教員	中林幸恵	3	異文化コミュニケーション②～自文化への気付き	自分を振り返る
科 目 名	異文化理解	時間数	17単位時間	4	異文化コミュニケーション③～異文化適応～	異文化について適応段階を学ぶ
開講期間	前期	授業形態	対面授業	5	異文化コミュニケーション④～発想の転換～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
使用テキスト名	異文化理解入門(研究社)			6	異文化コミュニケーション⑤～発想の転換～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
補助教材	パワーポイントスライド			7	文化・文明の衝突①～異文化に対する偏見～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
				8	文化・文明の衝突②～差別と異文化理解～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
<b>科目概要と科目到達目標</b>				9	文化・文明の衝突③～世界の価値観～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
異文化比較と理解を進め多様性社会への対応力を高める				10	文化・文明の対話①～文化背景の違い～日本編	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
				11	文化・文明の対話②～文化背景の違い～他国編	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
				12	文化・文明の対話③～異文化の受容～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
				13	文化・文明の対話④～非言語コミュニケーション～ケーススタディ	非言語の重要性を知り、理解を深める
				14	文化・文明の対話⑤～非言語コミュニケーションの種類～	非言語の重要性を知り、理解を深める
<b>授業の進め方・学習方法・課題</b>				15	文化・文明の対話⑥～多文化共生社会への参画～	多文化共生社会についてグループで話し合う
授業前半は教材に沿って「異文化」とは「コミュニケーションとは」を学ぶ				16	文化・文明の対話⑦～多文化共生社会への参画～発表	多文化共生社会についてグループで発表する
授業後半は異文化間で生じる問題についてグループワークで話し合い				17	期末試験	
問題解決を模索する。				18		
○対面授業と遠隔授業の併用実施				19		
				20		
<b>評価方法・成績評価基準</b>				21		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22		
				23		
				24		
<b>【成績評価基準】</b>				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
<b>実務経験教員の経歴</b>				32		
				33		
				34		

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	はじめに	
学 科 名	国際エアライン科	必須・選択	必須	2	ユニバーサルサービスを始めよう	ユニバーサルサービスの基本
学 年	2年生	担当教員	北村裕美	3	ユニバーサルサービスに取り組みメリット	お客様への満足・地域の活性化につながる
科 目 名	ユニバーサルサービス	時間数	17単位時間	4	ユニバーサルサービスの実践に向けて	ユニバーサルサービスの心を考える
開講期間	後期	授業形態	対面授業	5	ユニバーサルサービスのレシビを考える	笑顔を伝える
使用テキスト名	ユニバーサルサービス			6	理解度チェック	
補助教材	パワーポイントスライド			7	視覚に不自由を感じていることへのサービス	視覚障害とは
				8	様々な視覚障害	色覚障害 弱視 視力の低下
<b>科目概要と科目到達目標</b>				9	様々な視覚障害	盲導犬 聴導犬 介助犬
ユニバーサルサービスは、年齢や性別、障害の有無にかかわらず「すべての人」へのサービスです。 そのすべての人へのサービスの対処方法などが、率先して対応できるよう身につける				10	聴覚に不自由を感じる人へのサービス	聴覚障害とは
				11	様々な聴覚障害	難聴とは その人たちの暮らし
				12	肢体に不自由を感じる方へのサービス	事故やケガ
				13	車イスでの案内方法	
				14	高齢者・認知症の方へのサービス	
<b>授業の進め方・学習方法・課題</b>				15	テスト	視覚障害の人への案内
障害をお持ちのお客様への対処方法としては、基本サービス介助の指導方法として進める 様々なお客様への対応としては、前期で学んだサービス論から自分で考えた中でどのようなことを提供できるか 身に着けてもらう ○対面授業と遠隔授業の併用実施				16	テスト	車イスでの案内
				17	テスト	筆記試験
				18		
				19		
				20		
<b>評価方法・成績評価基準</b>				21		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22		
				23		
				24		
<b>【成績評価基準】</b>				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
<b>実務経験教員の経歴</b>				32		
航空会社にてグランドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、航空業界で体の不自由な人に対するの対処法など、専門知識などサービス介助士に関わる実務経験7年。				33		
				34		

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際エアライン科	必須・選択	必須	1	ハングル能力試験対策1	模擬問題を解く
学年	2年生	担当教員	中林・平山	2	ハングル能力試験対策2	模擬問題を解く
科目名	第二外国語(韓国語Ⅱ)	時間数	64単位時間	3	ハングル能力試験対策3	模擬問題を解く
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	ハングル能力試験対策4	模擬問題を解く
使用テキスト名	実用韓国語文法初級			5	ハングル能力試験対策5	模擬問題を解く
補助教材				6	ハングル能力試験対策6	模擬問題を解く
				7	ハングル能力試験対策7	模擬問題を解く
				8	10. 値段を聞く1	日常会話
<b>科目概要と科目到達目標</b>				9	10. 値段を聞く2	日常会話
科目概要:韓国語の基礎を学び挨拶などのコミュニケーションがとれるようにする				10	11. 食べ物について聞く1	日常会話
科目到達目標:ハングル能力検定試験 4級取得				11	11. 食べ物について聞く2	日常会話
				12	12. 相手を待たせる表現を学ぶ1	日常会話
				13	12. 相手を待たせる表現を学ぶ2	日常会話
				14	13. 歳と数字について学ぶ1	日常会話
<b>授業の進め方・学習方法・課題</b>				15	前期試験	
テキストに沿って問題を進めていき、ワークブックの問題を解く				16	ハングル能力試験対策8	模擬問題を解く
				17	ハングル能力試験対策9	模擬問題を解く
				18	ハングル能力試験対策10	模擬問題を解く
				19	ハングル能力試験対策11	模擬問題を解く
				20	ハングル能力試験対策12	模擬問題を解く
<b>評価方法・成績評価基準</b>				21	ハングル能力試験対策13	模擬問題を解く
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	ハングル能力試験対策14	模擬問題を解く
<b>【成績評価基準】</b>				23	ハングル能力試験対策15	模擬問題を解く
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	ハングル能力試験対策16	模擬問題を解く
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	ハングル能力試験対策17	模擬問題を解く
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	ハングル能力試験対策18	模擬問題を解く
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	13. 歳と数字について学ぶ2	日常会話
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	14. 自分がしたいことについて話せる1	日常会話
				29	14. 自分がしたいことについて話せる2	日常会話
				30	補助教材1. 全業種共通フレーズ	ビジネス会話の基本に触れる
<b>実務経験教員の経歴</b>				31	補助教材2. 飲食業のフレーズ	ビジネス会話の基本に触れる
				32	補助教材3. 販売業のフレーズ	ビジネス会話の基本に触れる
				33	補助教材4. 宿泊・レジャー・美容業のフレーズ	ビジネス会話の基本に触れる
				34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際エアライン科	必須・選択	必須	1	第9課 一共多少钱?	選択疑問文の使い方を覚える
学年	2年生	担当教員	富田朋美	2	第9課 一共多少钱?	金額の言い方を覚える
科目名	第二外国語(中国語Ⅱ)	時間数	64単位時間	3	第9課 一共多少钱?	動詞の重ね型を覚える
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	第10課 大学里有书店	存在を表す「在」と「有」の使い分け
使用テキスト名	新・ゼロから学ぶ中国語 検定試験合格への道のり			5	第10課 大学里有书店	「的」の用法を覚える
補助教材				6	第10課 大学里有书店	連動文を覚える
科目概要と科目到達目標 科目概要:文法の確認を中心にしながら基礎を学び、挨拶や自己紹介、買い物や旅行等、 中国で通じる中国語の習得を目指す 科目到達目標:中国語検定4級				7	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				8	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				9	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				10	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
授業の進め方・学習方法・課題 文法を確認しながら、日常生活で通用通用する中国語を学ぶ				11	第11課 我去过中国	助動詞の使い方を覚える
				12	第11課 我去过中国	経験を表す言葉を覚える
				13	第11課 我去过中国	「(是)～的」の文を覚える
				14	第12課 我家在做作业呢	現在進行形を覚える
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				15	第12課 我家在做作业呢	時間量を覚える
				16	第12課 我家在做作业呢	比較の表現を覚える
				17	第13課 我家离大学不太远	前置詞の種類を覚える
				18	第13課 我家离大学不太远	前置詞の使い分けを覚える
実務経験教員の経歴				19	第13課 我家离大学不太远	「怎么」と「怎么样」の使い分けを知る
				20	第14課 我得打工	助動詞の使い方を覚える
				21	第14課 我得打工	二重目的語を持つ動詞を覚える
				22	第14課 我得打工	二重目的語を持つ動詞の文を作る
				23	第15課 我们快放假了	未来形を覚える
				24	第15課 我们快放假了	未来形を入れた文を作る
				25	第15課 我们快放假了	程度を表す助詞「得」の文を覚える
				26	中国語検定4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				27	中国語検定4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				28	中国語検定4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				29	中国語検定4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				30	一問一答①	質問を聞いて、即答できるようになる
				31	一問一答②	質問を聞いて、即答できるようになる
				32	一問一答③	質問を聞いて、即答できるようになる
				33	期末テスト	
				34	振り返り	

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	PART 1 Vowels	母音の発音を理解する
学 科 名	国際エアライン科	必須・選択	必須	2	Vowel Overview	母音の発音を理解する
学 年	2年生	担当教員	Maya Skeele/Neil Maclean	3	After Vowels	母音の発音を理解する
科 目 名	Pronunciation II	時間数	64単位時間	4	Part II Consonants	母音の発音を理解する
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	Consonant Overview	母音の発音を理解する
使用テキスト名	Focus on Pronunciation 2			6	Beginning and Fnal Consonants	子音の発音を理解する
補助教材				7	Past Tense Endings	子音の発音を理解する
				8	Plurals, Possessives, and Present Tense	子音の発音を理解する
科目概要と科目到達目標				9	Consonant Clusters	子音の発音を理解する
科目概要: 日本語の発音とアメリカ英語の発音の違いを学び、実際のコミュニケーションに役立つ力を養う				10	Beginning Cosonant Clusters	子音の発音を理解する
科目到達目標: ネイティブスピーカーとのコミュニケーションに支障のないレベルの発音を身に着け、 日常会話、ビジネスにおけるスムーズな会話を実現する				11	Final Consonant Clusters; Joining Workds	子音の発音を理解する
				12	Stress in Words 1	ストレス
				13	Stress in Words 2	ストレス
				14	Assessment	評価
授業の進め方・学習方法・課題				15	Parts of Speech 2	ストレス
CDに合わせて日本人が苦手な母音の特徴を理解し、ネイティブと練習する				16	Stressed Syllables 1	ストレス
				17	Stressed Syllables 2	ストレス
				18	Compound Nouns 1	名詞
				19	Compound Nouns 2	名詞
				20	Rhythm and Intonation 1	リズムとイントネーション
評価方法・成績評価基準				21	Rhythm and Intonation 2	リズムとイントネーション
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	Content and Function Words 1	機能語と内容後
【成績評価基準】				23	Content and Function Words 2	機能語と内容後
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	Highlighting Important Words 1	重要語の強調
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	Highlighting Important Words 2	重要語の強調
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	Reduced Words 1	脱落と弱化
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	Reduced Words 2	脱落と弱化
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	Contractions and Reductions of Verbs 1	動詞
				29	Contractions and Reductions of Verbs 2	動詞
				30	Rhythm Patterns of Prepositions 1	前置詞のリズム
				31	Rhythm Patterns of Prepositions 2	前置詞のリズム
実務経験教員の経歴				32	Rising and and Falling Intonation 1	イントネーション
				33	Rising and and Falling Intonation 2	イントネーション
				34	Assessment	Assessment

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際エアライン科	必須・選択	必須	1	Unit 1. Food for Life	
学年	2年生	担当教員	Maya Skeele/Neil Maclean	2	Unit 1. Food for Life	Contrast General and Current Actions Give Details to Support Your Ideas
科目名	Speaking II	時間数	102単位時間	3	Unit 1. Food for Life	
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	Unit 2. Express Yourself	Talk about Yourself Start a Conversation Give examples
使用テキスト名	WORLD ENGLISH 2			5	Unit 2. Express Yourself	
補助教材				6	Unit 2. Express Yourself	
				7	Unit 3. Cities	
				8	Unit 3. Cities	Make Predictions about Your City or Town Evaluate Solutions to a Problem
<b>科目概要と科目到達目標</b>				9	Unit 3. Cities	
英語で基本的なコミュニケーションが図れる能力を身につける。 自己紹介から始まり最終的には自分の意見を伝えることを到達目標とする。				10	Unit 4. The Body	
				11	Unit 4. The Body	Discuss Ways to Stay Healthy Talk about Healthy Lifestyles Explain an Idea Using Details
				12	Unit 4. The Body	
				13	Unit 5. Challenges	Talk about Facing Challenges Discuss Steps Toward a Goal Describe a Personal Challenge
				14	Unit 5. Challenges	
<b>授業の進め方・学習方法・課題</b>				15	Unit 5. Challenges	
さまざまなTOPICから自分の意見を考えたうえでグループで、発表しながら基本的な形式をマスターする QQイングリッシュ併用				16	Unit 6. Transitions	
				17	Unit 6. Transitions	Talk about Different Stages in Your Life Ask Questions to Get More Information
				18	Unit 6. Transitions	
				19	Unit 7. Thing that Matter	Discuss Spending Habits Talk about Different Lifestyles Set Priorities
				20	Unit 7. Thing that Matter	
<b>評価方法・成績評価基準</b>				21	Unit 7. Thing that Matter	
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	Unit 8. Conservation	Talk about Consequences Describe a Situation Explain a Conservation Issue
				23	Unit 8. Conservation	
				24	Unit 8. Conservation	
<b>【成績評価基準】</b>				25	Unit 9. Life Now and in the Past	Discuss Life in the Past Talk about How Things Were Done in the Past Describe a Historical Wonder
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26	Unit 9. Life Now and in the Past	
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27	Unit 9. Life Now and in the Past	
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28	Unit 10. Travel	Talk about Organizing a Trip Use English at the Airport Discuss Travel
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29	Unit 10. Travel	
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30	Unit 10. Travel	
				31	Unit 11. Careers	Discuss Career Choices Talk about Career Planning Create a Personal Profile
<b>実務経験教員の経歴</b>				32	Unit 11. Careers	
				33	Unit 11. Careers	
				34	Assessment	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	国際エアライン科	必須・選択	必須	1	第1章 文化	浮世絵、狂言、きもの、書道、 いけばなについて
学 年	2年生	担当教員	小林先生	2	第1章 文化	
科 目 名	Japanese Cultures	時間数	34単位時間	3	第1章 文化	
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	第1章 文化	
使用テキスト名	世界とくらべてわかる 日本まるごと紹介辞典			5	第1章 文化	剣道、神社、祭り
補助教材				6	第1章 文化	
				7	第1章 文化	
科目概要と科目到達目標				8	第2章 食べ物・飲み物	ゆかた、こたつ、正月、葬式、見合い
科目概要: 日本文化研究で学んだ知識を参考に、日本文化を英語でどのように紹介するかを学びながら、プレゼンテーションスキルを身に付ける。				9	第2章 食べ物・飲み物	
科目到達目標: 実際に外国人の前で日本文化を説明し、質問に対応する				10	第2章 食べ物・飲み物	
				11	第2章 食べ物・飲み物	
授業の進め方・学習方法・課題				12	第2章 食べ物・飲み物	家紋、盆栽、風呂敷、扇子
日本文化研究で調べた情報を英語に翻訳				13	第2章 食べ物・飲み物	
想定される質問を含めて、プレゼンテーションスキルを身に付ける				14	第2章 食べ物・飲み物	
				15	第2章 食べ物・飲み物	
評価方法・成績評価基準				16	Assessment	忍者、皇室、切腹、将軍、温泉、花火
				17	Assessment	
				18	第3章 歴史・観光	
				19	第3章 歴史・観光	
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				20	第3章 歴史・観光	地下鉄、駅弁、侍、城、東京、京都
【成績評価基準】				21	第3章 歴史・観光	
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				22	第3章 歴史・観光	
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				23	第3章 歴史・観光	
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				24	第3章 歴史・観光	年賀状、おもてなし、梅雨、建国記念日、 わびさび、マンガ
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				25	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				26	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
				27	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
実務経験教員の経歴				28	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	自衛隊、カラオケ、駄菓子、塾
				29	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
				30	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
				31	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
				32	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
				33	Assessment	
				34	Assessment	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい	
<b>学 科 名</b> 国際エアライン科 <b>学 年</b> 2年生 <b>科 目 名</b> English for Hospitality <b>開講期間</b> 通年 <b>使用テキスト名</b> Hospitality English <b>補助教材</b>	<b>必須・選択</b> 必須 <b>担当教員</b> Sara Cogan <b>時間数</b> 34単位時間 <b>授業形態</b> 対面授業	1	UNIT01:Ticketing for a Domestic Flight.①	空港内での英語対応を学習する			
		2	UNIT02:Ticketing for a Domestic Flight.②				
		3	UNIT02:Domestic Flight Check-in①	チェックイン時の英語対応を学習する			
		4	UNIT02:Domestic Flight Check-in②				
		5	Review: Domestic Flight Dialogue				
		6	UNIT03:International Flight Check-in ①				
		7	UNIT03:International Flight Check-in ②				
<b>科目概要と科目到達目標</b>				8	Review: International Flight Check-in Dialogue	ラウンジと乗換時の英語対応を学習する	
実際のエアライン会社が研修で使用しているテキストを用い、英語での様々なシチュエーションに対応するための実践力をリスニング・スピーキング・ロールプレイを通して会得する。				9	UNIT04: Airport Lounge Service①		
				10	UNIT04: Airport Lounge Service②		
				11	UNIT05: Assisting Transit Passengers①		
				12	UNIT05: Assisting Transit Passengers②		
<b>授業の進め方・学習方法・課題</b> 教科書を用いて単語、リスニング、スピーキング、ロールプレイを行い、インプットとアウトプット力を身に着ける				13	UNIT06: Baggage Issues①		荷物引取時の英語対応を学習する
				14	UNIT06: Baggage Issues②		
<b>評価方法・成績評価基準</b>  ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  <b>【成績評価基準】</b> A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				15	UNIT07: Welcome Aboard①	搭乗時の英語対応を学習する	
				16	UNIT07: Welcome Aboard②		
				17	Review: Dealing with customers	復習:お客様対応のロールプレイを行う	
				18	UNIT08: Before Takeoff①	機内サービスの英語対応を学習し、ロールプレイを実践する	
				19	UNIT08: Before Takeoff②		
				20	UNIT09 In-flight Service①		
				21	UNIT09 In-flight Service②		
22	Roleplay: In-flight service						
23	UNIT10: In-flight Sales①						
24	UNIT10: In-flight Sales②						
25	Roleplay: In-flight sales	離陸時の英語対応を学習する					
26	UNIT11:Passenger Care①						
27	UNIT11:Passenger Care②						
28	Roleplay: Passenger Care						
29	UNIT12: Before Landing①						
30	UNIT12: Before Landing②	ロールプレイの復習をする					
31	Roleplay:Before Landing						
32	Review: Roleplay from Airport Lounge Service						
33	Review: Roleplay from Welcome Abroad						
<b>実務経験教員の経歴</b>				34	Evaluation: Roleplay	ロールプレイを行い、実技にて評価を付ける	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	昨年からの振り返り 確認	振り返り
学科名	国際エアライン科	必須・選択	必須	2	長文を短文に変換する語彙力①	要約して比較する
学年	2年生	担当教員	丹田先生	3	長文を短文に変換する語彙力②	長文を段落ごとに区切る
科目名	美しい日本語	時間数	17時間	4	長文を短文に変換する語彙力③	長文を段落ごとに区切ってツールで分ける
開講期間	前期	授業形態	対面授業	5	長文を短文に変換する語彙力④	長文を段落ごとに区切ってツールで分ける
使用テキスト名				6	発表	
補助教材				7	発表	
				8	四文字熟語 意味を理解する①	意味を覚える
<b>科目概要と科目到達目標</b>				9	四文字熟語 意味を理解する②	意味を覚える
美しい日本語を学ぶ上で、必要不可欠な語彙・漢字・四文字熟語等を習得する。				10	四文字熟語 意味を理解する③	語源やストーリーを覚える
				11	四文字熟語 意味を理解する④	語源やストーリーを覚える
				12	美しい日本語の発音	標準語 発音
				13	日本にしかない言葉と表現①	たそがれ おもてなし他
				14	日本にしかない言葉と表現②	四季それぞれにふさわしい言葉の理解
<b>授業の進め方・学習方法・課題</b>				15	仕事でつかえる大和言葉①	仕事で使える知的な美しい日本語
① 語彙や言い回しについての理解と問題演習(プリント使用)				16	仕事でつかえる大和言葉②	仕事で使える知的な美しい日本語
② 学習した語彙・言い回しを使った例文作り				17	まとめ	
③ 学習した語彙・言い回しを使った会話練習				18		
				19		
				20		
<b>評価方法・成績評価基準</b>				21		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22		
				23		
				24		
<b>【成績評価基準】</b>				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
<b>実務経験教員の経歴</b>				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際エアライン科	必須・選択	選択必須	1	オリエンテーション	授業の到達目標について理解する
学年	2年生	担当教員	北村/坂上/矢後	2	地域にあるSDGs問題①	自分の身の回りにおけるSDGsの問題を考える
科目名	国際理解Ⅱ	時間数	68単位時間	3	地域にあるSDGs問題②	積極的に取り組んでいる地域企業やグループを調査
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	地域にあるSDGs問題③	参加可能なイベントを調査
使用テキスト名				5	役割分担	役割分担を行い効率的な活動につなげる
補助教材				6	地域の問題を解決するための行動とは①	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
				7	地域の問題を解決するための行動とは②	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
				8	地域の問題を解決するための行動とは③	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
科目概要と科目到達目標				9	イベント企画案や広報案の提示①	企業や自治体への働き掛け
SDGsの「未来を変える目標」を理解し、実現するためにはどのような行動をすべきか考える。				10	イベント企画案や広報案の提示②	企業や自治体への働き掛け
ゴール11「住み続けられるまちづくりを」を全校の共通課題テーマに設定し、				11	活動①	1回目 SDGs問題解決のための活動
「社会」「経済」「環境」の3要素を調和させた問題解決策を提案する。				12	活動②	1回目 SDGs問題解決のための活動
また、日本だけではなく世界各地の取り組みも取り上げ、日本と比較しながら				13	活動③	1回目 SDGs問題解決のための活動
世界の未来について自分が起こせるアクションを考え、行動していく。				14	活動の振り返り①	活動の問題提起 振り返り
授業の進め方・学習方法・課題				15	活動の振り返り②次回への提案	改善点の提起
前期では、新潟県のゴール11「住みやすいまちづくり」について、持続可能にするためには				16	活動④	2回目 SDGs問題解決のための活動
どのような工夫や行動が必要かグループで議論する。問題解決のための企業連携を模索する。				17	活動⑤	2回目 SDGs問題解決のための活動
後期では、前期で出てきた活動案を企業・団体と共に実行に移し、振り返りを行う				18	活動⑥	2回目 SDGs問題解決のための活動
PDCAサイクルを年間を通して意識し、グループワークを行う。				19	活動の振り返り③	活動の問題提起 振り返り
評価方法・成績評価基準				20	活動の振り返り④次回への提案	改善点の提起
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				21	活動⑦	3回目 SDGs問題解決のための活動
【成績評価基準】				22	活動⑧	3回目 SDGs問題解決のための活動
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				23	活動⑨	3回目 SDGs問題解決のための活動
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				24	活動の振り返り⑤	活動の問題提起 振り返り
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				25	活動の振り返り⑥	改善点の提起
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				26	活動内容の報告、発表準備①	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				27	活動内容の報告、発表準備②	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
				28	活動内容の報告、発表準備③	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
				29	活動内容の報告、発表準備④	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
				30	発表①	一年の活動報告
				31	発表振り返り	
実務経験教員の経歴				32	来年度への提言①	来年度の企画立案
				33	来年度への提言②	来年度の企画立案
				34	来年度への提言③	来年度の企画立案